

愛情をカタチで示してください



扉からニュッと出ている黒い物体は何？

よく見たら、浮き輪ですね(*^^*)
農家さんの手作り、ワクワクさんの作品です。

扉に浮き輪をつけることで、牛が扉にぶつかる
怪我や転倒防止のために、
取り付けられているみたいです。

机の角で、足の小指ぶついたら
痛いんですよね(T_T) 牛も牛舎内の交通渋滞で、
後ろから押されて扉の角に体をぶついたら、
痛いんです。この浮き輪は、
農家さんの愛情の表れなんですね(^▽^)

10



顕微授精

顕微授精を始めました。

一般的な体外受精では、卵子の入った培地に
精子を入れることにより、体内での現象と同様に、
精子が卵子にたどり着き、自力で侵入することで
受精が起こります。



熟練したプロの技はこんな感じです

一方、「顕微授精」ではマイクロピペットという
細い針のような管の中に1個の精子を吸い取り、
これを顕微鏡下で卵子に直接注入することで
受精を引き起こします。高度に熟練した技術が必要であるため、目下練習中です。

現在、顕微授精の技術は精子無力症(精子が泳げない)や精子減少症
(精子が極端に少ない)など、
男性不妊症治療の救世主としてヒトの不妊治療においても広く行われています。

生命誕生の最初のステップである「受精」を、顕微鏡下で行えるなんて
すごいですねw(^o^)w

この技術が、生産現場の受胎率向上につながることを目指し、
練習に励んでいきたいと思います。

11



第3回

ET研究所 ブログ便り

ET技術を活用して、優良和牛素牛、優良和牛繁殖牛の増産や、乳牛
の後継牛確保・改良の研究を行う「JA全農ET研究所(ET研)」の。
そのET研が発信しているブログから、皆さまに役立つ情報を紹介していきます!

ピンクアイズブラックボバイン

夏になると出てくる赤いものといえば……

「スイカ!」ではなく、牛の目の病気で、
ピンクアイです(°д°)



真っ赤な目が痛々しい

ピンクアイは、夏場にハエなどの昆虫を媒介して
流行することが多い目の病気で、
名前の通り白目が赤っぽくなるのが特徴です。
涙が出てきて目が痒くなったり痛くなったりします。
今年度1頭目を発見、写真はホルスタインです。
まずは生理食塩水で洗ってやり、その後、治療をします。

早期発見と迅速な治療でできるだけ流行を防いでまいります(´・ω・｀)┐

08



爪のケア

ET研究所の現場の技術者の主たる業務は、
人工授精にしる妊娠鑑定にしる、
直腸に手を入れるところから始まります。



今日もバッチリ手入れしました

直腸の粘膜はデリケートなので、粗雑に扱うと
血が出てしまうこともあります(≥□≤)

そのため、日に数十頭単位で直腸に手を入れる
ET研の技術者は、爪のケアは欠かせません(￣▽￣+)

かくいう私も、家と職場に爪切りを置いており、
気になればいつでも手入れできるようにしております。
短めに切るだけでなく、切断面が滑らかになるようヤスリがけも欠かせません。

爪へのこだわりはそこいらのネイルにハマる有閑マダムにも勝るとも劣りません(´^`)

09



ET研の「いま」がわかる「全農ET研ブログ」はコチラ→ <http://etken-blog.lekumo.biz/et/>

※編集の都合上、ブログと表記や写真等が異なる場合がございます